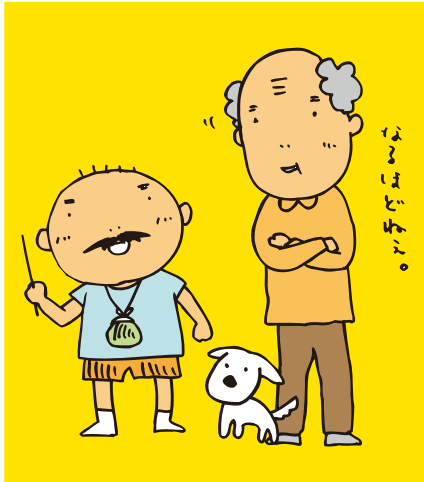


# おかねの作文コンクール



金融広報中央委員会は  
全国の中学生を対象に  
「おかねの作文」を募集しています。  
みなさんの見たこと、聞いたこと、  
感じたことをもとに  
「おかね」について考えてみよう。  
キミの応募を待ってるよ!

## 特選5編(賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/日本PTA全国協議会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

## 秀作5編(賞状と図書カード2万円分)

■佳作50編(賞状と図書カード2千円分)

■学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)

**9月20日**  
しめきり!!  
※消印有効

# ★ テーマ:自由

テーマ(作文に書く内容)は、「おかね」に関するものであれば、どのようなものでも構いません。

テーマを考えるときの参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を自由に考えてみてください。

テーマを決めた後、作文の内容にふさわしいタイトル(題)をつけてください。

## ◆テーマの例

### 1. 将来の夢の実現とおかねの関わり

あなたの将来の夢は何ですか。やってみたい仕事はありますか。あなたが思い描く未来を実現するために、どのようなことを心がけ、準備をしていったらよいでしょうか。あなたの「将来設計」を、おかねとの関わり方を含めてまとめてみましょう。

### 2. 私のおかねのルールやわが家の約束事

あなた自身やあなたの家族で決めているおかねについてのルールはありますか。商品を買うときに心がけていること、携帯電話の使い方、お小遣いのルールなど、消費者として行動の基準としている点はどのようなことですか。

### 3. 活かしたおかねの使い方とは

おかねを使うと、持っているおかねは減りますが、一方で得られる満足があります。おかねの使い方は、その人の価値観やものの考え方を表すとともに、多少なりとも世の中に影響を与える面を持ちます。買い物や貯金などについての、自分自身の体験や、周囲の人のおかねの上手な使い方について書いてみましょう。

### 4. ニュースにみるおかね

新聞やテレビ等で報道された、おかねに関わるニュースを取り上げて、あなたが思うことを書いてみましょう。身近な地域、中学校、社会や文化、海外や世界が関係するさまざまなニュースの中で、興味がわいたり、関心を持ったニュースを探してみましょう。

## 第49回「おかねの作文」コンクール 募集要項



[応募資格] 中学生

[賞] ●特選 5 編(賞状と図書カード 4 万円分)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 日本 PTA 全国協議会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5 編(賞状と図書カード 2 万円分)

●佳作 50 編(賞状と図書カード 2 千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5 校(賞状と図書カード 1 万円分)

[締め切り] 2016 年 9 月 20 日(火)※消印有効

[発表] 12 月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<http://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「おかねの作文」コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。<http://www.ron2016.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く 10 時~17 時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <http://www.ron2016.jp/>



## ★ 作文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。作文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、身の回りのお金や自分の将来に目を向け、考えたことを書くようご指導ください。

金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力を、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

## あなたは、お金やモノを大切にしていますか？

私たちの回りには、たくさんのモノやサービス、情報があふれています。「豊かな社会」の中で、私たちは本当に必要なものを選択し、使っていくことが大切です。お金の使い方もそうです。適切な判断と行動ができる消費者になるためには、将来を見越して計画的にお金と付き合えるようにならなければなりません。

金融広報中央委員会が募集した「おかねの作文」コンクール、昨年は全国から3,203点の作品が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。これらの作品も参考にしながら、自分の回りで「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとに、自分自身の意見をまとめてみましょう。



## 第48回 (2015) 受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。  
<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/sakubun/>

### 金融担当大臣賞

「お金の使い方」を考える  
東京都 筑波大学附属中学校 3年  
早田 弥生さん

**作品の内容** 筆者は、日頃母親と、お金を使う時や使った後にそれぞれ「浪費」「経費」「投資」のどれか判定し合ううち、1. 自らの将来像を明確にし、出費を三つに峻別できる見識と価値観を形成する、2. 投資を浪費にしないため、お稽古事などは成果を得るまで努力する、の二つが、お金の使い方の「真の心得」だと考えました。審査員は「着眼点、内容、文章力のいずれも高く評価できる」などを授賞理由に挙げました。

**受賞者の声** きっかけは、母との買い物でのふとした会話でしたが、作文として書くことで、「投資」の意味合いを深く考え、そして何より、高校進学を目前に、自分の将来を真剣に見つめるとても大切な機会になったように思います。

### 文部科学大臣賞

最後の一万円  
東京都 暁星中学校 2年  
土屋 駿さん

**作品の内容** お金に苦勞せず1万円を使うのはそう難しくなくとも、曾祖母が3年前に98歳で亡くなる直前に小遣いとしてくれた1万円札は使えない筆者。母に「思い出になるものを買えば」と言われても、値段以上の価値がある特別な1万円。曾祖母と過ごした記憶が忘れられず、「声が聞こえそうな今はまだ、使う時期ではなさそう」と結びました。「構成が上手く、飽きさせない展開」などと審査員から高い評価を得ました。

**受賞者の声** 学生の僕が今、手にするお金は全て誰かに貰ったお金です。将来、僕が働いてお金を手に入れた時にはもう、今の気持ちはないと思います。今だから感じられる思いを作文にできて、それを評価してもらえたことをとてもうれしく思います。

### 日本銀行総裁賞

「活きたお金の使い方」とは  
岡山県 倉敷市立多津美中学校 3年  
山縣 香納絵さん

**作品の内容** 何日もかけた内職でもらえたお金がわずか1,000円だったと母に聞かされた筆者は、1,000円稼ぐのは大変だと知りました。貯金しているお金を使う時は、両親が頑張っているから、稼いでくれたのだから、思考力や知識などを身につけ、いろいろな考え方を考えるために本を買うなど、活きたお金の使い方をしたいと考えます。「お金の重み、両親への感謝が表現されていて良い」などの声が審査員から上がりました。

**受賞者の声** 今回の作文を書くことによって、いろいろな角度からお金について考えることができました。お金を意識するという面では、とても良いきっかけになったと思います。この経験をこれからの生活の中でいかしていきたいです。

### 日本PTA全国協議会会長賞

曾祖母からの三千元  
兵庫県 神戸市立有野北中学校 2年  
程能 楓さん

**作品の内容** 曾祖母から「大事に使って」ともらった千円札3枚を財布に大切にしている筆者。自分と4歳の妹に母から200円ずつ渡されたスーパーで、買う物をすぐに決めた自分に対し、なかなか決められない妹を見て、同じ金額でも人によって価値が違うことを発見。財布の中の3,000円で価値ある買い物をし、使い道を曾祖母に報告しようと決めました。審査員は「お金と曾祖母を大事に思う気持ちを感じた」などと評価しました。

**受賞者の声** 今回、この作文を書くことによって、お金に対する考え方が変わりました。お金の価値は、同じ3,000円でも使う人によって変わっていきます。これからも、何気なくお金を使うのではなく、価値のあるお金の使い方を心掛けていきたいです。

### 金融広報中央委員会会長賞

塵も積もれば  
神奈川県 三浦市立初声中学校 1年  
加藤 梨理さん

**作品の内容** 筆者は1円硬貨が「大好き」で、夢は「1円硬貨で1億円貯めること」。貯金する度に「1億円に近づいた」とワクワク感を得ています。貧しい国の子供たちに薬を届ける、盲導犬育成団体への寄付など、使う夢も広がります。1億円分の1円硬貨は重さ100トンで、まさに「塵も積もれば山となる」。自分も努力次第で何にでもなれる、と胸をふくらませていきます。審査員から「社会的視点で使い方を考えているのが良い」などの評価を得ました。

**受賞者の声** 「どうせなら楽しく貯金したい。」そんな考えから始めた、1円玉貯金。自分が目標とする1億円へは、とても長い道のりになりますが、コツコツと貯金を続け、夢がかなったその時には、困っている人達などのために、お金を使いたいと思います。

### 秀作

お母さんバンク  
大分県 向陽中学校 2年  
野田 真央さん

安心と幸せをつかむために  
新潟県 上越市立春日中学校 3年  
外立 亜未さん

五百円から学んだこと  
静岡県 富士市立須津中学校 3年  
狩野 菜摘さん

みんなのためは私のため  
大分県 大分県立大分豊府中学校 3年  
佐藤 結衣さん

未来の私への投資  
大分県 大分中学校 3年  
河野 悠花さん

### 学校賞

東京都 暁星中学校  
東京都 筑波大学附属中学校  
神奈川県 三浦市立初声中学校  
兵庫県 神戸市立有野北中学校  
岡山県 倉敷市立多津美中学校

第48回  
審査員  
(敬称略)

竹内 信近(金融庁総務企画局政策課課長補佐) 望月 昌代(文部科学省初等中等教育局視学官) 寺本 充(公益社団法人日本PTA全国協議会会長)  
新飯田 潤一(全日本中学校国語教育研究協議会会長) 齋藤 聡(日本銀行情報サービス局金融広報課長) 前川 瑞穂(金融広報中央委員会事務局次長)

# 応募の注意点

●文字数について **空白を含む1,600～2,000字**(参考文献・出典は含みません)

 <b>原稿用紙で 書くなら</b>	<b>400字詰め原稿用紙</b> ※タテ20字×ヨコ20行	 <b>パソコン原稿で 書くなら</b>	<b>1行20字詰め</b> ※1枚につき30行以内
---	-----------------------------------	---	-------------------------------

◎作品集ホームページ(<http://www.ron2016.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

## ●応募について

<b>個人で応募する場合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。</li> <li>・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号を記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。</li> </ul>
<b>学校単位で応募する場合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校宛てにお送りしています<b>学校専用応募用紙</b>にてご応募ください(学校専用応募用紙はホームページ&lt;<a href="http://www.ron2016.jp/">http://www.ron2016.jp/</a>&gt;からもダウンロードできます)。</li> <li>・下記応募用紙(個人用)は不要です。</li> </ul>

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。 ◎日本語に限ります。 ◎作品は理由を問わず返却しません。  
 ◎入賞作品の著作権・著作権は主催者に帰属します。 ◎佳作の作品は公表しません。  
 ◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

## 作文を書くにあたってのご注意

- ・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。本文は3行目から始めてください。
- ・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。  
※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- ・右肩をホチキスで留めてください。

### 参考文献の明記

- ・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、作文の最終ページに必ず記入してください。

### 引用するときの注意点

- ・他の人の文章は、なるべく使用しないようにしましょう。
- ・どうしても使用したいときには、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、作文の最終ページに、必ず出典を記載してください。

出典例 ○校目○行目○金融広報中央委員会 『ピギナ』の「インターネット」 ○出版、二〇一〇年三月、二十五ページ ○校目○行目○金融広報中央委員会 「きみはリッチ?」(http://www.ron2016.jp/) 閲覧日二〇一六年七月十九日
--

(出典の記入例)

参考文献・出典の記入方法  
 (最終ページ)  
 書籍の場合  
 ○校目○行目(応募作品当該箇所)、著者名、書籍名、  
 出版社名、出版年、参照または引用したページ  
 インターネットの場合  
 ○校目○行目(応募作品当該箇所)、著者名、タイトル、  
 URL、閲覧日

本文冒頭の記入方法 ○1行目 作品タイトルを記入 ○2行目 学校名、学年、氏名を記入
--

### 本文冒頭の記入方法

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただきたいうえでご応募ください。

**個人情報の取り扱いについて** ●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合には、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。



キリトリ

## 第49回「おかねの作文」コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
立		中学校
学校住所 (〒 - ) 都道 市区 府県 郡		
学校電話番号 ( ) -	学校FAX番号 ( ) -	
※マンション、アパート名等も必ずご記入ください。		
自宅住所 (〒 - ) 都道 市区 府県 郡		
電話番号(日中連絡の取れる先) ( ) -	FAX番号 ( ) -	

下記のアンケートにご協力ください。

◎このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)  
 1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌(媒体名 ) 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他( )

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。